

診断書の記載例

<b>診 断 書</b>			
住 所	〇〇市	町	番地
氏 名	山 梨 太 郎		
	昭和 年 月 日生 ( 歳)		
傷病名	左第2指切創		
	この災害で受傷した全ての傷病名を記載してもらってください。		
	部位まで記入してください。 × 切創		
	確定診断名 傷病名が「〇〇疑い」と記載されている場合は取り扱えませんので、疑いが晴れてから診断書を作成してもらってください。(針刺し事故は除く)		
	上記負傷のため全治まで、 <u>7日間</u> の加療を要する見込		
	〇月 〇〇日	職場で受傷	
	〇月 〇〇日	当院初診	
	療養見込期間を記入してもらってください。		
	初診日を必ず記入してもらってください。		
	上記のとおり診断いたします。		
	令和〇〇年〇月〇〇日		
	〇〇市	〇〇町	〇〇番地
	〇 〇	病 院	
	医師	〇 〇 〇 〇	印
	柔道整復師の診断書は、療養として柔道整復師による施術のみが行われる場合です。		

※ 基金から療養補償として支払われる文書料は、認定請求書に添付して基金に提出した診断書1通に限ります。

※ 公務災害・通勤災害の認定に使用した診断書料には、消費税法及び同施行令の規定により、消費税はかからないこととなっているので、請求しないでください。

※ 診断書の様式は定めていません。各医療機関で用意してある診断書に必要な事項を記入してもらってください。